

標 題 : Mediterranean alpha-linolenic acid-rich diet in secondary prevention  
of coronary heart disease  
冠状動脈性心疾患の二次予防における地中海式高  $\alpha$ -リノレン酸食事

---

著 者 : M. de Lorgeril, et al. [リヨン食事心臓研究 : フランス INSERM]

---

掲 載 誌 : Lancet 343: 1454-1459 (1994)

---

要 旨 : ランダム、シングルブラインド、二次予防、追跡試験で、地中海式高  $\alpha$ -リノレン酸食事の影響を通常の心筋梗塞後の食事と、我々は比較した。

最初の心筋梗塞後に、患者をランダムに実験群 (n=302) または対照群 (n=303) に割当てた。ランダム分け後 8 週間および毎年 5 年間、患者を診察した。

実験群は脂質、飽和脂肪、コレステロールおよびリノール酸の摂取が有意に少ないが、オレイン酸および  $\alpha$ -リノレン酸の摂取は多いと、血漿の測定で確認された。

血清脂質、血圧および BMI は 2 群で同様であった。

実験群で、アルブミン、ビタミン E および C の血漿値は上昇したが、顆粒球数は減少した。

平均追跡期間 27 ヶ月後に、対照群で 16 人の心臓死があり実験群は 3 人であった : 対照群で 17 人の非致死性心筋梗塞があり実験群は 5 人であった : この 2 つの主な評価項目を組合せたリスク比は予後変数で調整後に 0.27 (95%CI 0.12-0.59, p=0.001) であった。

総死亡は対照群で 20 人、実験群では 8 人であり、調整したリスク比は 0.30 (95%CI 0.11-0.82, p=0.02) であった。

高  $\alpha$ -リノレン酸地中海食事は、冠状動脈性の発症と死亡の二次予防に現在使用されている食事よりも、有効と見える。

---